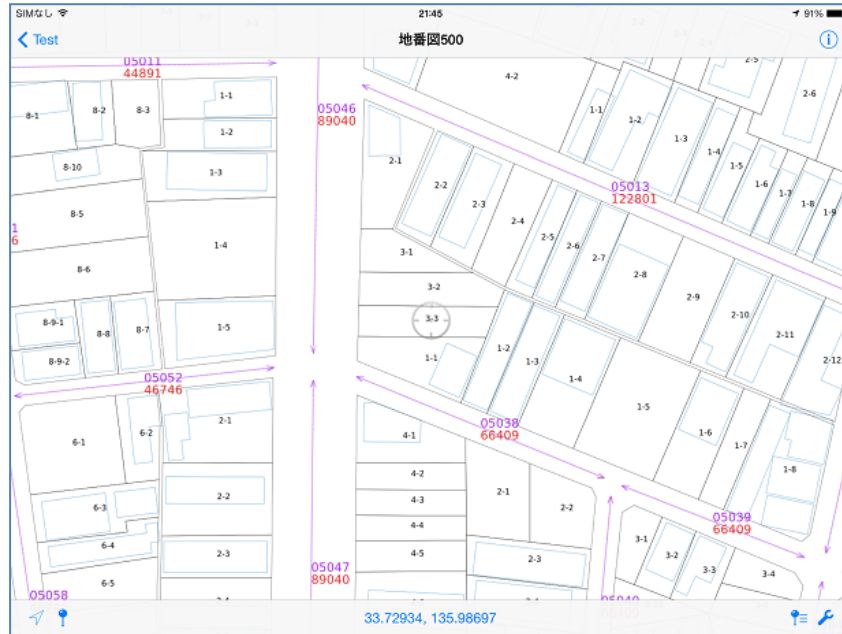


1. 地番図（土地、家屋、路線）を背景図として

① 地番図背景図（SpacialPDF） 画像



② 土地、家屋、路線をポイントとして切り出し

地番図背景に重ねるとこんな感じ

属性参照はピンをクリック



- ③ 土地、家屋、路線をラインとして切り出し
地番図背景に重ねるとこんな感じ
属性参照はラインをクリック



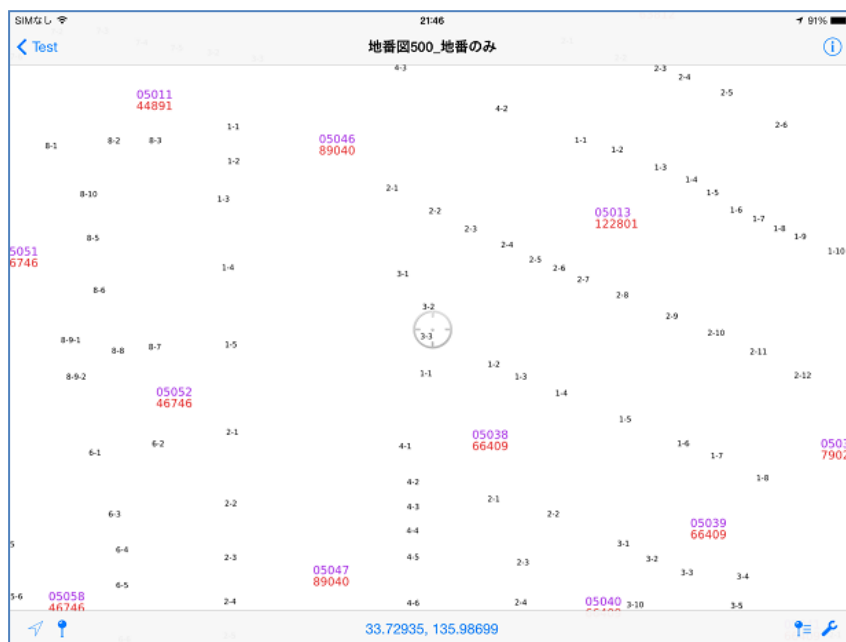
- ④ 当然、クリックした図形の詳細属性も表示可能。



300項目近い課税マスタもスクロールして表示可能。

2. 地番のみを背景図 (SpacialPDF) として

- ① 1ですでにGISっぽいのが、土地、家屋、路線をラインで切り出す場合、良く考えると背景地番図は必要ないのでは。
で、地番のみの背景図。



- ② 土地、家屋、路線をラインとして切り出し
地番のみ背景に重ねるとこんな感じ。 やはり、背景図不要。
属性参照はラインをクリック



③ レイヤのON/OFFも可能

地番のみ背景なので、レイヤON/OFFがリアル。



④ なんと、ポイント、ラインの入力も可能

当然、図形に対する属性入力、写真撮影&添付も可能。

ここまで来ると、立派なGIS。

現地調査には十分な機能です。

上記データは、下記デモサイト

http://neogis.net/kodemo/index_opl.html

にアップしています。

ログイン後、オプションタグ、「PDFMaps 地図ダウンロード」で取得可能です。

KMLは、「L」で始まるのがライン、「S」で始まるものがポイント（シンボル）です。

もちろん、「切り出し」機能でも切り出せます。

2013/10/10時点で、ポリゴンは使用できないが、ラインで十分代用可能です。

が、Avenza Systems Inc.さん、ポリゴン対応のバージョンアップも期待しています。